



作品解説。

この作品は、音声作品ではありますが、選択肢がございます。
記載されている選択肢の番号の音声ファイルを再生していただくこと
によって、テキストと音声を一緒に愉しんでいただけるものです。
主人公になりきって、音声ファイルを選択していただくか、選択肢なしの
連続ファイルとして一つにまとめた音声ファイルをお聴きいただくかの
どちらでもおたのしみいただけます。

【1 スタート】

1の音声ファイルを再生してください。

いつものように悪の組織の戦闘員と戦っていた。
戦闘力が違うので、倒していたと表現したほうが的確なくらい。
だが自分が優位だったことでまったく気がつかなかったことがある。
戦闘員たちは、倒されながらも罾を仕掛けていたのだ。
逃げられないように罾を仕掛け、待ち構えていた怪人たちが行く手も退路もたつように立ちはだかった。

戦闘員ではなく怪人である。
戦闘員とは戦闘力そのものが違っている。
一対一で戦っても手強いというのに、それが何名も一度に襲いかかってくる。
懸命に戦ったが、所詮敵ではなかった。
今までと立場が逆転した。
完膚無きまで倒されてしまった。

そして意識が戻ると、拷問台のようなところへ磔にされていた。
側に磔にされてるいる者を面白くもなさそうに見下ろしている女が一人。
大きな胸は半分露出して、太腿も露わなレザーの服装を身に着けている。
高いヒールとナチスのような帽子を斜めにかぶる姿は、ひどく挑戦的な感じする。
伊達めがねなのだろう装飾をあしらったメガネが妙に似合って、冷酷そうに見えた。
その瞳が、じっと見下ろしていた。

「ボウヤ、調子に乗ってやりすぎたのよねエ……」
なにかゾクゾクするような感じの声だった。

「さて、……いったい何のつもりだったのかしらね、え。この妄想世界で、なんとか戦隊、…みたいなことをやりたかったのかしらア。……それにしても、……それには、……いづんと簡単にやられちゃったみたいだけど……。…いったいボウヤは、なにをここにこへやってきたのかしらア……。しかたないから、この悪の組織、女幹部のイマージュ様が、じかに、…尋問して、あ、げ、る…。どう、嬉しいでしょう…。……あらあらなにその目、怯えてるの……。？ 正義のヒーローな

んですものね、怖がったりしないわよねエ…。…これから行われる、あ～んな、尋問や…。こ～～ん拷問なんて、……そんなものに怯えたりしたいわよねエ…

『　クッ、こ、怖くなんかあるものかッ。正義の炎が心の奥で燃えている限り、ボクは決して負けを認めないッ！』

……おや、…おや……。…あらあら、あらア……。正義がどうのこうの、熱く語っているけど、ボウヤ、変な気分になっているんじゃないの……。…その目、なにかを期待している目だわよね。……それに、なに、ここ……。コンモリと盛り上がってるけど……。この…わたしの足の先に当たる、この、股間のもっこりはなにかしらねエ……。…ほら、イイなさいよ…。つんつん突つくと、さらに大きくなってくるけれど、これはなぜなのかしらねエ……。ウフフフッ……。じっくりと時間をかけて聞いてあげるわ。……どうしたの……。フフ…やっぱり嬉しいのねエ……。ここが反応しているわよ。…またさっきより、硬く大きくなってわよ……。

いいわ、これからわたしの声には、逆らえなくしてあげるから……。楽しみにしててちょうだい。ウフフフ……。妄想調教……。いいかしら、この妄想世界で受けた調教は、現実世界のボウヤへも影響があるってことよ。……わかる……。分かるわよね……。？　分からないの……。いいわ、これからいやでも分かるようにしてあげるから……。わたしの言葉には逆らえなくなるのよ」

選択。

- 2 拷問に耐える。
- 3 やめてくれと懇願する。

【2 無言で拷問に耐える】

2の音声ファイルを再生してください。

磔にされている変身ヒーロー見下ろして、ご満悦のイメージ。
手術用のメスを取り出すと、指先で弄びながら尋問を開始した。
ヘルメットは壊され、顔は露出している。
さらには戦闘コスチュームを、鋭いメスでジワジワ切られて行く。
切れ味が鋭く、まるで薄い紙を切るように簡単に切られていった。

コスチュームが切り裂かれる度に、肉体まで切られるのではないかと思える。
イメージは絶妙に切り裂いていく。

股間を完全に剥き出しにする。

硬くそそり立っている分身をメスの腹でピタピタと叩きながら尋問している。

さらには陰毛までメスでそり落としてしまう。

「フウン……。黙りね……。たしかに、拷問にかけられてべらべら喋るヒーローっていうのもかっこ悪いわよね。いいわ……。そこらへんはこれからじっくりと聞いてあげる。……。あらあら、奥歯を噛みしめて痛みを耐えるつもりなのね。……。けなげだわ。なんて立派なのかしらア…。思わず拍手しちゃうわッ……。でも、残念。わたしはムチで打ったり、電流ながしたり、頭から冷たい氷水をかけたり。そんなことをするつもりはないのよねッ。わたしがボウヤの身体に聞きたいところは、ここ……。フフフ…、ここよ。この股間のもっこりに聞いてみようとおもっているよ。

さあ～て、股間の中はどうなっているのかしら。……。ダメよ動いちゃ……。この手術用のメスはすごく切れるのよ。動くと、色々なところが、スパッと切れちゃうわよ。カミソリの刃よりも鋭いのよ。ウフフフ……。どうなっているのかなア。

まあ、なにこれ……。これってチンチンよね。硬くなってるわよ。亀頭なんて、少しテラテラ光ってるし。怖い……。？ どうなの……。それとも興奮してるの……。さっきから、メスの腹でピタピタ叩く度にピクピク動いてるわよ。それに、ますます大きくなってくるわ。…こうしてる間にも、ビンビンにそそり立っちゃった。……。ピクピクが、ヒクヒクになって動いているわよ。

身体ってホント正直よねッ。 さあ、イイなさい。ボウヤのチンコはどうして大きくなっているのかを このメスは偽物じゃないのよ。……ほら、こうして陰毛をジヨリジヨリするとちゃんと切れちゃうでしょう。…ほら、見て、ほ～ら、すっかりお毛々がなくなって、ツルツルの丸裸よん 」

選択。

4 黙っている。

5 正直に話す。

【3 やめてくれと懇願する】

3の音声ファイルを再生してください。

ヒーローの恐怖に歪む顔に、ゾクゾクしているイマージュ。
高まってる欲情をどうすることもできなかった。
自ら大きな乳房を弄り、内股を擦りつけながらさらに尋問を続ける。

メスを局部にあてがいながら、言葉で責めている。
メスを動かす度に、ビクビクと身体を捻るがたまらなかった。
ヒーローの肉体を、メスで切り裂いて解体しているところを想像していた。
ますます欲望が高まってくる。

たまらず手を股間に入れて、指で秘裂を探って慰めている。
すでに漏らしたように濡れていた。
もっと敏感な部分を指で弄り、強く刺激している。
相手を言葉とメスで恐怖を与える行為に、興奮しきっていた。
イマージュは自分の指で、何度も絶頂に達していた。

「『 やめろッ。やめてくれエエ~~~~！』

.....ああ、あ.....、いいわよ、その声 。やっぱり、この声たまらないわッ。濡れてきちゃう.....。これよ、これが聴きたかったのよッ。...尋問しているんだから、これがなくチャつまんないのよッ。...イ、イイワ.....。興奮しちゃう.....。この立派なオチンチン。どうしようかしら。いっそ、切り取っちゃおうかしらね.....。

『 ウグァ~~~~！ やめろ~~~~、やめてくれエエ~~~~！』

ハア...、イイ声だわッ。もっと怖がりなさい。もっと叫ぶのよッ。...た、たまらないわッ。ハア、ハアッ.....。もう我慢できない。ハア、自分の指で満足させるしかないわッ。

.....アッ.....アア...、す、すごく濡れてるわッ.....。こんなにビショビショ...。
ハア...。

見なさい、この指を、マンコに指を入れただけでこんなにも濡れているわ.....。
フウ...あ.....。.....ジンジン感じる、わよ.....。...その、怯えた瞳もたまらな

いよオ……。ハア…ハア～……。

興奮しているから、動くときれるわよ……。チンコにキズがついても、知らないからねッ…。こうやって……。メスの背中で肉棒を撫でてあげると、ピクピク動くわ……。フフウ…、どう…こうやって、金属で触れられても気持ちいいのかしら……。…フフフ…。ハ～ア～、どうなの…。教えないさい…。ハア…気持ちいいの、良くないの……。

『うっ、ウウン～～～。やめてくれ、き、切らないでくれッ。そ、それ以上メスを動かさないでくれッ！』

き、切られたくないのねッ…ハア…。…このわたしのメスで…お、オチンチンを切り取られたくないわよねッ。…この、このチンコを傷付けられたくないわよね……。怖いでしょう、このメスが、怖いわよねエ……。ハア、ハア～、ハア～。たまらにないわッ。このまま一気に、スパッと切りたくてたまらない。…ウウ～～、それとも、肉棒や、亀頭を浅く傷付けてから、切り離しちゃう、か、しらア…。オチンチンなくなっちゃったら、オナニーも、せ、セックスもできなくなるよッ。ハア…。いやよね、そんなの、とってもいやよねッ

ウッ、ウウ～～、…ハア、…も、もうダメ、さっきからもうイキそうよッ。ポウヤも、そうよね。さっきからチンポがヒクヒク動いているもの……。それになに、尿道口からタラタラと粘液を漏らしてるじゃないッ。これを見てたら、わたし……。アッ、アッ、アアア～～～、アウウ～～～！ ハア…フウッ…、……イっちゃたわッ。…自分の指で、終わっちゃったわッ。……仕方ないわね。拷問の続きはまた今度ね。そのおっ立ってるもの自分でなんとかしないさい。うごけたらね……。」

選択。

7 次に期待する。

【4 黙っている】

4の音声ファイルを再生してください。

自分の拷問に恐怖を感じないのが気に入らなかった。
ヒーローらしく黙って耐えている姿に興味を感じないのだ。
拷問するのは相手に恐怖と苦痛を与えるためだった。
ドエスなイマージュの楽しみを与えない変身ヒーロー。
つまらないと、側にあったスイッチに手を伸ばしてオンにする。
碟台がそのまま動いて、処理用の重く頑丈な扉が開いて消えていく。

「あらあら……。剃毛したのに、チンチンが、こんなになもなっているわよ。
でも、まだ黙っているの。可愛くないわね……。あまり強情なのももてないのよ。
...それに飽きちゃった。このままこのメスを使って、改造手術しても良いんだけど、それも面倒だしね。このスイッチを押して、ボウヤを廃棄処分にするわ。
それじゃあね、バ~イ……」

選択。

1のスタートから再スタート。

【5 正直に話す】

5の音声ファイルを再生してください。

「や、やめてくれ〜〜〜！」と、泣き叫ぶヒーロー。
その醜態を見ているイマージュはご満悦である。

恐怖と苦痛を与えられたことが、愉しくて仕方がないのだ。
自分の拷問に屈服する姿に興奮している。
さらにいたぶるために、股間の分身を弄んでいる。

「...ウフフフ.....。そうそう、それで良いのよ。そうやって正直に話せば、
廃棄処分されたりしないのよ。このまま言うことを聞かないつもりだったら、
いっそバター犬にでも改造してやろうかと考えていたのよ。それも嬉しいわよ
オ.....。人間じゃあなくなってしまうのもいいかもよ.....。で.....、オチンチ
ンが立っちゃうのは興奮している分けねエ。どんな具合に興奮するの.....？」

.....ほおう.....。こうやって、刃物の腹でオチンチンを叩いたりすると、
切り落とされるじゃないかと怖いってわけてね。...それが、ゾクゾクして気持
ちいいわけねッ。フフフ、こ・う・ふ・ん、しちゃうんでしょ。つまりよ・
く・じょ・う、しているんでしょ。じゃあ、本当にこの立派にそそり立って
いるオチンチンを切り落としちゃったらどうなるのかしら〜〜〜。ウフフフ
.....。イイワ〜、そ〜よ、その声が聞きたかったのよオ〜。その『やめてく
れ〜！』という助けを呼ぶボウヤの声が聞きたかったのよ。

じゃあ、こういうのはどうかしら.....、こうやって、こうやるの.....。この
長い爪先で擦ったりするとどうかんじるのかしらア.....。ほら、ほら.....。ど
う、とんな感じがするの...。オチンチンが、ヒクヒク動いているわよ.....」

選択。

6 指で弄ってください。

7 次に期待する。

【6 指で弄ってください】

6のファイルを再生してください。

鋭い手術用のメスで、ヒーローをジワジワ脅す。
時々、軽く皮膚を傷付けることで相手の恐怖を煽っている。

恐怖に身体を震わせながらも、異様な興奮に勃起している変身ヒーロー。
ますます興奮し押さえが効かなくなっているイマージュ。
メスを動かす手につい力が入ってしまう。

思わずメスに力が入り、いきり立った分身をすっぱりと切り取ってしまう。
噴き出す真っ赤な血を見て、恍惚としている。
駆け抜けていく絶頂を味わうと、関心を失って処分のボタンを押した。

「えっ、なに？　もっとしてほしいの。わたしのこの綺麗な指で、もっと責めてほしいわけエ…。はぁ……贅沢ね……。そんなの、面白くないじゃないッ。指で、このピクピク動いているチンコを弄っても、悦ぶのはボウヤだけよね。や～よ、そんなの……。つまんないわッ。やっぱり、これよ、これ。この鋭いメスで、こうやって、きつ……………」

『ウギャアアア～～～～！』

あ、ゴメンナサイ～～。つい、力が入って切っちゃったわ、ン。血が一杯、噴き出してるウ。でも悪いのはボウヤよ。だって、つまんないこと言うんだもん。それにチンチンが勃起するのはね、海綿体に血液が集中しちゃうからなのよオ～～。

ハア～、ハアア～～。だから、だからこうして切ると、一杯真っ赤な血が、噴き出してくるのよ～～！

……ハア、ハア…、ハ、ア……。ふう。つい興奮して切り取ってしまったわ。もう使えないわね、これ……。もう、廃棄処分ね……。ア～ハハハ～～～！」
選択。

1のスタートからやり直してください。

【7 次を期待する】

7の音声ファイルを再生してください。

一度、処分されて妄想世界から姿を消した変身ヒーロー。
またも現れて悪の組織へ戦いを挑む。
だが、またしても倒されて捕らえられてしまった。

またも磔にされてイメージの前に連れられてくる。
「バカなの」と、呆れてしまうイメージ。
磔にされているヒーローの身体に腰掛けて、得々と話して聞かせている。
話しているうちに興奮していくイメージ。
ヒーローの身体を傷付けてしまった。

「 また来たの……。しつこいのよねボウヤは……。悪を倒しにきたというより、わたしに虐められに来ているみたいよッ。…なによ、その顔…。なにを期待してるのッ。ヒーロー気取りだったけど、実は変態じゃないのオ……。キモイワァ～～。…こうやって。拷問されたりするのが好きなわけねッ。それとも目覚めちゃったのかしら……。フフフ…。

『うう、うう～～～～～……』

おやおや、涙ぐんでるのかしら～。ヒーロー気取りの強がりもうなくなっちゃったのオ。ちょっと情け無いんじゃないかしら……。嘘でも殺せとか、喋ることはないとか言いなさいよ。チンコビンビンにして、泣きそうになってるヒーローなんて恥ずかしくて死にたくならない。いっそ、舌嚙んで死んじゃってよ。

その戒めをぶち切って、正義の怒りに燃えるボウヤが悪の女幹部であるわたしをなぎ倒す。悪の野望を打ち砕き、わたしを倒す。そしてここからが、重要なのよん…。最後まで抵抗しようとするわたしを、完膚無きまで打ち砕くのよ。そして抵抗できないわたしの、この服をビリビリ引き裂くの。

そしてね、いやがる女幹部の口にそのビンビンに立ったチンポをぶち込んで犯すのよ。ザーメンを口の中に吐き出すだけじゃ飽きたらず、わたしのオマンコやアナルにまでぶち込むの。それもすべて中だしよ、中だし……。……それだけじゃないわ、わたしのこの大きなオッパイにもチンコを擦りつけて、

ぶちまけるのよッ。それもわざと顔にかけるのよ、顔に。顔射するの、この美しい顔によ

は～～……。そんなの期待してたんだけどな～～！　それがなによこれ、縛られて虐められて、拷問されてッ。それで悦ぶヒーローなんて最低じゃない。少しはやる気のあるとこ見せて欲しいわッ……。まったく……。

『ウギャアアア～～～～！！』

ペッ、ペペペッ　　。チンコに噛みついてやったわ」
選択。

9 女幹部と対面する。

8 もっとしてください。

【8 もっとしてください】

8の音声ファイルを再生してください。

イメージに拷問を続けて欲しいと懇願する変身ヒーロー。
呆れながらも、拷問で肉体を弄び続ける悪の女幹部。
自分の拷問責めに手応えを感じている。

嘲笑しながらも、天を向く肉棒を握り弄んでいる。
ヒクヒクと反応するペニス。
反応が敏感になってくると、イメージは手を放し無関心になる。
その度に身悶えして苦しそうにする変身ヒーロー。
射精寸前に止められて苦しいのだ。

「お願いだ、もう少し、もう少しなんだ。イカせてくれ。射精させてくれ」
どんなに懇願してもイメージは射精させなかった。

「なんですって、知らないわよ、そんなこと。自分でなんとかするのね。
それに尋問を受けているんでしょう。どうして、気持良くいこうとするのよッ。
捕虜のくせに……。気に入らないわね……。こうやって　こうやって、弄っ
て欲しいの……？　そんなこと、するわけないじゃない。……あっ、ハハハ…
…。あら、やだ　。ヒクヒクが止らないわよね。……ふ～～ん、いきそうな
のね……。

『やめてくれ。それ以上は触らないでくれ！』

ほら、これはどうなの……。爪先で弄っても、悦んでいるわね…。……これ
以上、触っちゃうとイっちゃうでしょう。そんなのダメよッ　。な～んにも
してあげないわ。苦しいの……。フフフ……、イキたくてイキたくてたまらい
なのねッ。でも、ダメ…。このピクピク動いているチンコになにもしてあげな
いわ。

あら、なに……。ちよっと弱ってきたわね。……あんなにビンビンだったの
に、萎えてきてるじゃない。もっと、頑張りなさいよッ。…ホラホラ…どうよ、
これ……。指先で弾いてあげると、あら不思議……。さっきみたいに、また隆
々とそそり立ってきたわよ。…でもかわいそうねエ…。ここまで、これ以上は
なにもしないわよ。ウフフフ……、また身悶えして苦しんでいるわ。したくて、
したくてたまらないのね。溜まったものを全部吐き出したいのねッ。

飽きちゃったわ~、後は勝手にしてちょうだい。なにもしなくてもイケるものなら、イッてみなさい。さっきから、チンポ先からタラタラ漏らしてるけど、それが限界よね。このまま放置してあげるわ。.....嬉しいでよ...」

選択。

9 女幹部と対面する。

続きは体験版で。